



## 2025年9月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名	株式会社デコルテ・ホールディングス		上場取引所 東
コード番号	7372 URL <a href="https://www.decolitte.co.jp/">https://www.decolitte.co.jp/</a>		
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 新井 賢二	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理部ゼネラル・マネージャー	(氏名) 新 敬史	TEL 078(954)5820
定時株主総会開催予定日	2025年12月23日	配当支払開始予定日	—
有価証券報告書提出予定日	2025年12月19日		
決算補足説明資料作成の有無	有		
決算説明会開催の有無	有		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年9月期の連結業績 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
2025年9月期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	6,046	8.2	294	34.3	198	60.4	145	37.1	145	37.1	145	37.1
	5,589	△4.5	219	△75.4	123	△83.8	106	△78.4	106	△78.4	106	△78.4

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
2025年9月期	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	28.42	—	3.0	1.6	4.9
	20.79	—	2.2	0.9	3.9

(注) 希薄化後1株当たり当期利益について、2024年9月期においては新株予約権が存在するものの、権利確定条件未達によりすべて失効していることから希薄化効果の計算対象外となり、2025年9月期においては潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
2025年9月期	百万円		百万円		百万円	%	円 銭
2024年9月期	12,322		4,982		4,982	40.4	971.68
	12,778		4,831		4,831	37.8	945.91

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
2025年9月期	百万円		百万円		百万円		百万円	
2024年9月期	1,366		△264		0.00		△994	
	715		△212		0.00		△1,089	

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分比率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	6,481	7.2	453	53.9	357	80.0	239	64.3	239	46.69

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：有

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2025年9月期	5,670,000株	2024年9月期	5,670,000株
2025年9月期	542,539株	2024年9月期	562,039株
2025年9月期	5,121,691株	2024年9月期	5,104,986株

（参考）個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	602	13.8	67	34.8	19	△88.4	5	△97.0
2024年9月期	529	△12.1	50	△21.3	164	62.3	170	85.5

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円 銭		円 銭	
2025年9月期	1.02		—	
2024年9月期	33.47		—	

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2024年9月期においては新株予約権が存在するものの、権利確定条件未達によりすべて失効していることから希薄化効果の計算対象外となり、2025年9月期においては潜在株式が存在していないため記載しておりません。  
2. 売上高の増加については、事業拡大に伴う子会社からの経営指導料の増加によるものです。  
3. 経常利益及び当期純利益の減少については、前事業年度においては子会社からの受取配当金が発生しましたが、当事業年度においては発生しなかったことによるものです。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年9月期	6,107		2,465		40.4		480.92	
2024年9月期	6,117		2,455		40.1		480.76	

(参考) 自己資本 2025年9月期 2,465百万円 2024年9月期 2,455百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
2. 2025年11月6日に当社ウェブサイト(<https://ir.decollte.co.jp/>)に決算説明資料を掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	10
(1 株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、2025年に入り以降賃金の伸びを上回る物価の高騰により実質賃金の減少が8か月間続くも、内需が底堅く推移し外需の押し上げを受けることにより、緩やかな成長が継続しました。今後、物価上昇が鈍化することにより実質賃金が緩やかな増加に転じ、内需が回復に向かうという見方がある一方で、米国の関税政策の影響の本格化により2025年7～9月期は実質GDPのマイナス成長であったと見込まれており、さらに米国の関税政策を巡っては各国の協議が続き、交渉の結果次第では世界経済が減速に向かうリスクが懸念されるなど、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

ブライダル業界においては、コロナ禍からの急激な婚姻組数の減少には落ち着きがみられるものの、伝統的な挙式・披露宴市場は本格的な回復には至らない状況が続いております。一方で、コロナ禍を経て結婚式に対する価値観の多様化が進み、従前のような大人数での挙式・披露宴からフォトウェディングや少人数婚などへのシフトが加速しております。

特に、フォトウェディングは新たな結婚式のスタイルの一つとしてコロナ禍以降も市場の成長が続き、フォトウェディング市場には規模の大小を問わず新規参入を試みる事業者が増え市場の活性化を見る一方、一部地域においては低価格でサービスを提供する事業者も現れるなど、競争環境にも変化が生じております。

このような経営環境の下、主力業態であるフォトウェディングサービスにおいては、撮影やヘアメイク、衣装などのサービスの質を高めつつ、集客チャネルの多様化及び広告宣伝費の配分の最適化による集客の強化、フォトウェディングの魅力や当社の強みを伝える営業力の強化、顧客のニーズを汲んで撮影の満足度を高める提案力の強化等により、撮影件数・単価の向上を通じて引き続き業績の拡大に取り組んでまいりました。また、フォトウェディングのリーディングカンパニーとして、フォトウェディングの認知度の向上や顧客のニーズと環境に合わせた取組を進め、市場拡大に取り組んでまいりました。

アニバーサリーフォトサービスにおいては、お宮参りや七五三等のイベントだけでなく、お子様を中心に家族でリピートしたくなるHAPPYな体験を得られるフォトサービスを提供してまいりました。現在全国で8店舗展開していますが、今後は既存店舗のブランド力を強化し顧客層の厚い首都圏での店舗展開を進めつつ、多様なニーズを取り込むための取組を強化し、事業拡大を目指してまいります。

当連結会計年度の経営成績は、フォトウェディングサービスにおいて婚姻組数の下げ止まりや、広告宣伝の最適化、接客品質向上による成約率の改善及び単価の向上などの取り組みにより、売上収益は前年同期を上回りました。費用面では、人員数の増加及び売上増加によるインセンティブ增加に伴う人件費の増加やクレジットカードの料率変更、資本政策に関する一時的な費用の発生などによる支払手数料の増加等により、前年同期に比べ増加しました。加えて、事業効率改善のため2026年9月期連結会計年度の実施を決定した、フォトウェディングの研修施設等の集約、アニバーサリーフォトスタジオの一部閉店、着物レンタルサービス都々路の閉店等に伴う減損損失135百万円を当連結会計年度において計上しました。これら一時的な費用や減損損失の計上もありましたが、売上収益は6,046百万円（前期比8.2%増）、前期に比べ456百万円増加、営業利益は294百万円（同34.3%増）、前期に比べ75百万円増加しました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は145百万円（同37.1%増）、前期に比べ39百万円増加となりました。

また、当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標としている調整後営業利益は、当連結会計年度において928百万円となり前期比32.7%の増益となりました。

セグメントレベルの概況は以下のとおりです。

#### <スタジオ事業>

当連結会計年度のセグメント業績は、売上収益6,017百万円（前期比8.3%増）、セグメント利益318百万円（40.7%増）となりました。

##### ・フォトウェディングサービス

撮影件数は前年同期に比べ5.0%増加、撮影単価は前年同期に比べ2.8%増加したことにより、売上収益は前年に比べ413百万円増加し、5,706百万円（前期比7.8%増）となりました。

##### ・アニバーサリーフォトサービス

前連結会計年度に開店した店舗が期初から収益貢献したことに加え、2025年7月に東京都立川市に「HAPISTA COMMONS立川立飛店」を新規に出店した結果、売上収益は50百万円増加し、310百万円（前期比19.4%増）となりました。

## &lt;その他&gt;

フィットネスジムにおいては、2023年11月末で40minutes芦屋店を閉店したことを受け、売上収益は前期を下回りました。

当連結会計年度のセグメント業績は、売上収益28百万円（前期比19.3%減）、セグメント損失23百万円（前期は6百万円の損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は809百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加しました。これは主に現金及び現金同等物が107百万円増加したことによるものです。非流動資産は11,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ492百万円減少しました。これは主に減価償却により使用権資産が510百万円減少したことによるものです。

この結果、資産合計は12,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ455百万円減少しました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円増加しました。これは主に引当金が36百万円、営業債務及びその他の債務が26百万円増加するとともに、未払法人所得税が82百万円、その他の流動負債が78百万円増加したことによるものです。一方、非流動負債は5,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ857百万円減少しました。これは主にリース負債が588百万円減少するとともに、非流動負債の借入金が355百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は7,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ606百万円減少しました。

## (資本)

当連結会計年度末における資本合計は4,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が145百万円増加したことによるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は40.4%（前連結会計年度末は37.8%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は329百万円となり、前連結会計年度末と比べ107百万円の増加となりました。当連結会計年度の各活動におけるキャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前期比650百万円増加し、1,366百万円の収入となりました。主な要因は、税引前利益が198百万円となり、減価償却費及び償却費838百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、利息の支払額100百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは264百万円の支出（前期は212百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出180百万円、資産除去債務の履行による支出57百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは994百万円の支出（前期は1,089百万円の支出）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出475百万円や賃貸借物件の家賃支払いなどによるリース負債の返済による支出659百万円のキャッシュの減少要因がありました。

## (4) 今後の見通し

2026年9月期は、円安、資源・原料価格の上昇による消費財の価格上昇等、引き続き先行き不透明な状況にあります。当社グループは2026年9月期の業績予想を以下のとおりとしています。

(連結)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
2026年9月期（予想）	6,481	453	357	239
2025年9月期（実績）	6,046	294	198	145

フォトウェディングサービスにおいては、既存店売上高の向上と2025年9月期出店の1店舗の通期での貢献に加えて、2店舗の新規出店を計画、売上収益は423百万円増の6,130百万円（前期比7.4%増）を見込んでいます。

アニバーサリーフォトサービスにおいては、2025年9月期出店の1店舗の通期での貢献に加えて、2店舗の新規出店を計画、売上収益は12百万円増の322百万円（前期比4.0%増）を見込んでいます。

上記を踏まえ、当社グループの2026年9月期の売上収益は6,481百万円、営業利益は453百万円、税引前利益は357百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は239百万円となり、增收増益を見込んでいます。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2019年9月期より国際会計基準（IFRS）を適用しています。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
<b>資産</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	222,497	329,696
営業債権及びその他の債権	263,677	286,175
棚卸資産	106,609	96,152
未収法人所得税	87,578	—
その他の流動資産	92,257	97,463
<b>流動資産合計</b>	<b>772,619</b>	<b>809,486</b>
<b>非流動資産</b>		
有形固定資産	1,263,008	1,207,750
使用権資産	4,453,726	3,943,023
のれん	5,635,785	5,635,785
無形資産	11,926	11,333
その他の金融資産	541,401	567,268
繰延税金資産	95,792	144,779
その他の非流動資産	4,033	3,329
<b>非流動資産合計</b>	<b>12,005,673</b>	<b>11,513,270</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,778,293</b>	<b>12,322,757</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
借入金	473,096	503,096
営業債務及びその他の債務	200,383	226,734
リース負債	614,829	613,704
未払法人所得税	6,176	89,044
引当金	—	36,973
契約負債	378,279	376,470
その他の流動負債	256,801	335,108
<b>流動負債合計</b>	<u>1,929,567</u>	<u>2,181,131</u>
<b>非流動負債</b>		
借入金	2,024,008	1,668,412
リース負債	3,687,123	3,098,791
引当金	305,921	392,174
<b>非流動負債合計</b>	<u>6,017,053</u>	<u>5,159,377</u>
<b>負債合計</b>	<u>7,946,621</u>	<u>7,340,508</u>
<b>資本</b>		
<b>資本金</b>	155,384	155,384
<b>資本剰余金</b>	2,747,945	2,732,516
<b>利益剰余金</b>	2,518,106	2,663,649
<b>自己株式</b>	△589,763	△569,302
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<u>4,831,671</u>	<u>4,982,248</u>
<b>資本合計</b>	<u>4,831,671</u>	<u>4,982,248</u>
<b>負債及び資本合計</b>	<u>12,778,293</u>	<u>12,322,757</u>

## (2) 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	5,589,551	6,046,172
売上原価	3,747,472	3,968,331
売上総利益	1,842,078	2,077,840
販売費及び一般管理費	1,536,766	1,646,880
その他の収益	27,694	7,887
その他の費用	113,475	143,986
営業利益	219,532	294,860
金融収益	10,268	10,737
金融費用	105,958	106,979
税引前利益	123,842	198,618
法人所得税費用	17,693	53,075
当期利益	106,148	145,543
当期利益の帰属		
親会社の所有者	106,148	145,543
当期利益	106,148	145,543
その他の包括利益	—	—
当期包括利益	106,148	145,543
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	20.79	28.42

## (3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		自己株式		
				新株予約権				
2023年10月1日残高	155,384	2,753,215	2,411,957	42,843	△600,152	4,763,248	4,763,248	
当期利益	—	—	106,148	—	—	106,148	106,148	
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	
当期包括利益合計	—	—	106,148	—	—	106,148	106,148	
新株予約権の失効	—	1,250	—	△1,250	—	—	—	
株式報酬取引	—	—	—	△41,593	—	△41,593	△41,593	
譲渡制限付株式報酬	—	△6,519	—	—	10,388	3,868	3,868	
所有者との取引額合計	—	△5,269	—	△42,843	10,388	△37,724	△37,724	
2024年9月30日残高	155,384	2,747,945	2,518,106	—	△589,763	4,831,671	4,831,671	

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		自己株式		
				新株予約権				
2024年10月1日残高	155,384	2,747,945	2,518,106	—	△589,763	4,831,671	4,831,671	
当期利益	—	—	145,543	—	—	145,543	145,543	
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—	
当期包括利益合計	—	—	145,543	—	—	145,543	145,543	
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—	—	
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—	
譲渡制限付株式報酬	—	△15,428	—	—	20,461	5,033	5,033	
所有者との取引額合計	—	△15,428	—	—	20,461	5,033	5,033	
2025年9月30日残高	155,384	2,732,516	2,663,649	—	△569,302	4,982,248	4,982,248	

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	123,842	198,618
減価償却費及び償却費	868,426	838,330
減損損失（又は戻入れ）	110,963	135,815
金融収益	△10,268	△10,737
金融費用	105,958	106,979
有形固定資産除却損	573	6,017
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	25,965	△18,001
棚卸資産の増減額（△は増加）	△13,183	10,457
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△31,684	38,028
契約負債の増減額（△は減少）	△15,334	△1,809
その他の負債の増減額（△は減少）	△5,147	110,961
その他-純額	△53,342	6,215
小計	1,106,768	1,420,876
利息及び配当金の受取額	54	774
利息の支払額	△100,767	△100,304
法人所得税の支払額	△290,184	45,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	715,871	1,366,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△200,874	△180,165
投資の取得による支出	△17,298	△47,561
投資の売却及び償還による収入	5,580	19,593
有形固定資産の売却による収入	31	672
資産除去債務の履行による支出	—	△57,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212,561	△264,551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の借入による収入	2,334,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△2,762,379	△475,596
リース負債の返済による支出	△660,942	△659,191
その他-純額	—	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,089,321	△994,787
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△586,012	107,198
現金及び現金同等物の期首残高	808,510	222,497
現金及び現金同等物の期末残高	222,497	329,696

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

該当事項はありません。

## (会計上の見積りの変更)

当連結会計年度において、賃借事務所・建物等に対する原状回復義務に備えて計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積もりの変更を行いました。

この見積もりの変更により、138,435千円を変更前の資産除去債務残高に加算しています。なお、当該見積もりの変更により、当連結会計年度の営業利益及び税引前利益は、それぞれ18,016千円減少しております。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「スタジオ事業」を報告セグメントとしています。

「スタジオ事業」は、フォトウェディングサービスの提供・アニバーサリーフォトの撮影及び写真加工、アルバム等の製作を行っています。

## (2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表作成のために適用した当社グループの会計方針と同一です。

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	スタジオ 事業	計				
売上収益						
外部収益	5,553,627	5,553,627	35,923	5,589,551	—	5,589,551
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—
合計	5,553,627	5,553,627	35,923	5,589,551	—	5,589,551
セグメント利益（△損失）	226,265	226,265	△6,733	219,532	—	219,532
金融収益	—	—	—	—	—	10,268
金融費用	—	—	—	—	—	105,958
税引前利益	—	—	—	—	—	123,842
減価償却費及び償却費	857,167	857,167	11,258	868,426	—	868,426
減損損失	110,963	110,963	—	110,963	—	110,963
資本的支出	405,513	405,513	76	405,589	—	405,589
報告セグメント資産	12,683,747	12,683,747	56,351	12,740,099	38,193	12,778,293

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。
2. セグメント資産の調整額には、主に全社目的のために保有される余剰資産（現金及び現金同等物）等が含まれています。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	スタジオ 事業	計				
売上収益						
外部収益	6,017,172	6,017,172	28,999	6,046,172	—	6,046,172
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—
合計	6,017,172	6,017,172	28,999	6,046,172	—	6,046,172
セグメント利益（△損失）	318,284	318,284	△23,424	294,860	—	294,860
金融収益	—	—	—	—	—	10,737
金融費用	—	—	—	—	—	106,979
税引前利益	—	—	—	—	—	198,618
減価償却費及び償却費	829,968	829,968	8,362	838,330	—	838,330
減損損失	116,261	116,261	19,554	135,815	—	135,815
資本的支出	497,901	497,901	1	497,903	—	497,903
報告セグメント資産	12,272,824	12,272,824	28,497	12,301,322	21,434	12,322,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

2. セグメント資産の調整額には、主に全社目的のために保有される余剰資産（現金及び現金同等物）等が含まれています。

## (1 株当たり情報)

## (1) 基本的 1 株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
親会社の所有者に帰属する当期利益(千円)	106,148	145,543
加重平均普通株式数(千株)	5,104	5,121
基本的 1 株当たり当期利益(円)	20.79	28.42

## (2) 希薄化後 1 株当たり当期利益

希薄化後 1 株当たり当期利益は、2024年9月期においては新株予約権が存在するものの、権利確定条件未達によりすべて失効していることから希薄化効果の計算対象外となり、2025年9月期においては潜在株式が存在していないため、基本的 1 株当たり当期利益と同一です。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。